

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ロボット前立腺手術）のご紹介

当院泌尿器科では限局性前立腺癌に対して、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダビンチXiを使用）を施行しております。

当院では最新型のダビンチXiを東北地方で初めて導入しています。

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ロボット前立腺手術）の内容

限局性前立腺癌に対する保険適応の治療法です。前立腺と精嚢腺の摘除、尿道と膀胱を吻合するもので、早期の前立腺癌に対する有効性が確立された治療方法の1つです。開腹手術に比べて、傷が小さく痛みが軽度で、手術後の回復が早い、手術中の出血量が少ないなどの利点があります。そのため術後の回復が早く、手術翌日に歩行可能であり、食事也开始できます。また、出血量が少ないためこの手術法では他人の血液を必要とする輸血の確率は5%未満とされています。繊細な手術が可能のため、前立腺周囲に走行している神経血管束（男性機能や尿道括約筋機能に関連）を温存することにより、術後の尿失禁や男性機能の回復が早い傾向があります。入院期間は9－12日間程度と短いことも特徴です。前立腺癌の可能性があると指摘された場合や御心配な場合はまずPSA検査や前立腺生検が必要になります。

前立腺癌の診断、治療でお困りの方や、低侵襲手術（ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術）を御希望の方は、ぜひ当科外来に御相談ください。

手術方法

麻酔：全身麻酔

1. 腹部に6か所ポートを作成します。（傷は1－2cm大と小さいです）
2. 気腹（腹腔内をガスで膨らませます）の上ロボットで操作できる内視鏡鉗子を使用し前立腺を剥離します。
3. 前立腺摘出の上、尿道と膀胱を吻合します。
4. 手術後は、吻合部保護のため尿道バルーンが入り、6－7日後に抜去します。

手術時間

手術はおよそ3－5時間かかります。（前立腺癌の状態により異なります）

詳しくは、泌尿器科外来で担当医にお尋ねください。



左から岩村医師、海法医師、佐藤教授、伊藤医師、阿南医師、工藤臨床工学技士